



アジア経済研究所図書館 概要と業務紹介

アジア経済研究所 学術情報センター 図書館情報課
2026/6/6

1

IDE-JETRO

目次

1. アジ研図書館とは
(図書館の沿革、特色、運営体制)
2. ライブラリアンの仕事
(資料・情報の収集、整理・発信、提供・保存)
3. スキルアップと活躍の場
(アジア情報研修、図書館の活動、ライブラリアン・コラム)
4. 募集について

2

1. アジ研図書館とは


- 開発途上国研究の専門図書館
- 蔵書80万冊
 - ・ 社会科学分野
 - ・ 学術文献・一次資料
- 一般公開

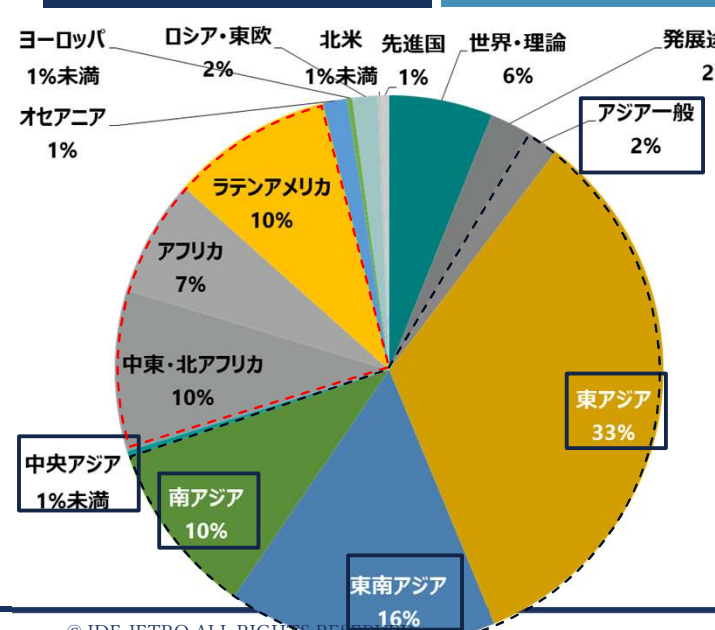


「アジア経済研究所」
ですが、対象は「アジア」
だけでも「経済」だけでも
ありません

© IDE-JETRO ALL RIGHTS RESERVED 3

3





2025年度蔵書統計 (概数)

総資料点数	803,200
(1) 図書・年刊 (冊)	542,500
(内訳)	
洋書	263,500
和書	85,100
アジア・アフリカ諸語 (中国語・韓国語を含む)	122,400
別置資料	71,500
(2) 統計資料 (冊)	120,900
(3) 雑誌 (タイトル)	3,700
(4) 新聞 (タイトル)	550
(5) マイクロフィルム (リール)	56,000
(6) マイクロフィッシュ (点)	2,800
(7) CD-ROM, DVD, ビデオ等 (点)	7,500
(8) 地図 (枚)	54,100

© IDE-JETRO ALL RIGHTS RESERVED 4

4

図書館の沿革

- 1958年：財団法人アジア経済研究所創立。
 - 1959年：図書資料部設置。
 - 1960年7月：通商産業省所管の特殊法人アジア経済研究所となる。
 - 1998年7月：日本貿易振興会（ジェトロ）と統合。
図書資料部・統計調査部資料部門と日本貿易振興会の資料室が組織的に統合。
- **アジア経済研究所図書館**（市ヶ谷）、**ビジネスライブラリー**（BL）（虎ノ門）に改称。（2003年分離、2018年2月BL閉館）
- 2003年10月：独立行政法人化。
 - 2019年4月：図書館部門と出版企画編集部門を統合し、**学術情報センター**設置。



市ヶ谷時代



現在

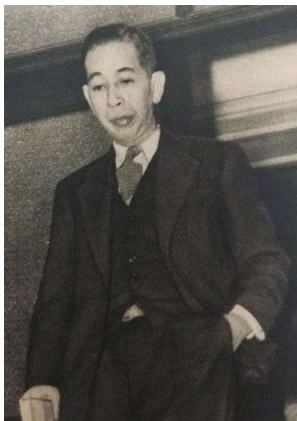
© IDE-JETRO ALL RIGHTS RESERVED

5

最初に

2つの注文

岸信介当時首相



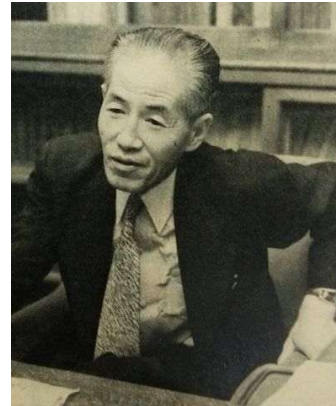
写真出典：『アサヒグラフ』1954年4月7日号（朝日新聞社）



アジア（後進国）研究の
エキスパートを養成すること

後進国研究のための**図書館ないし
資料センター**をつくること

東畑精一初代所長



写真出典：『アサヒグラフ』1956年10月14日号（朝日新聞社）

© IDE-JETRO ALL RIGHTS RESERVED

（『アジア経済研究所20年の歩み』⁶より）

6

図書館の特色

公開性

- 開発途上地域全域に関する資料を収集
- 日本の知的公共財

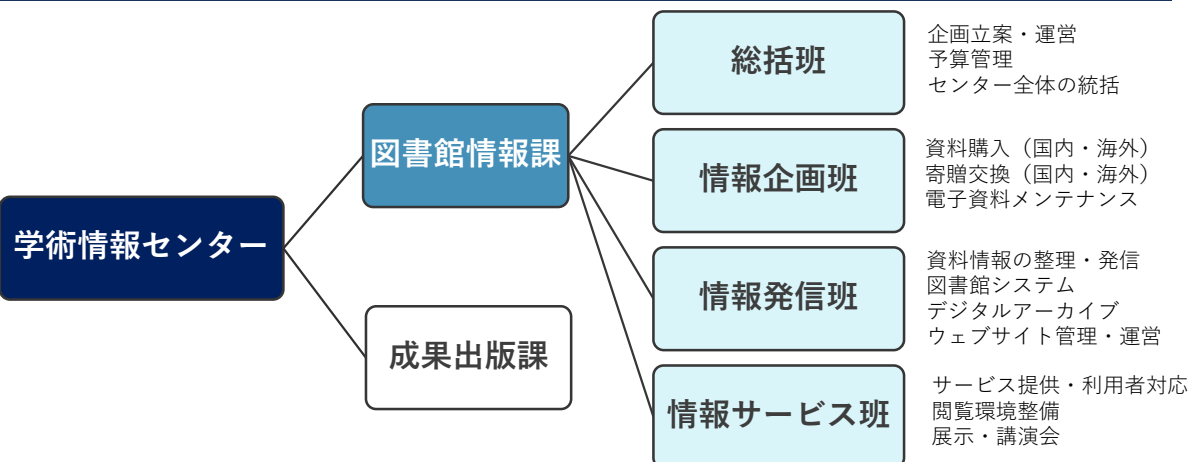
資料収集の 「現地主義」

- ①現地語
- ②現地刊行資料
- ③現地調査

基礎資料に重点

- 新聞、雑誌
- 統計資料
- 経済開発計画書

図書館の運営体制



2. ライブラリアンの仕事

サブジェクト・ライブラリアン

各地域関連資料の**選書**

現地での**資料収集・資料調査**

現地語資料の**目録作成**

各地域関連の**レファレンス対応**

連携して
ます！



システム・ライブラリアン

図書館システムの管理・運営

デジタルアーカイブスの管理・運営

機関リポジトリの管理・運営

収集から提供までに携わります

収集

- 選書・購入
- 現地での収集

整理・
発信

- 目録作成・分類
- 蔵書情報の発信

提供・
保存

- レファレンス
- 閲覧環境整備

資料・情報の収集



◆収集方針・選書基準に基づいた計画的調達

- 研究に資する国内外の学術図書・雑誌
- 現地語・現地刊行の基礎資料
 - 購入、寄贈・交換
 - 現地での収集

© IDE-JETRO ALL RIGHTS RESERVED

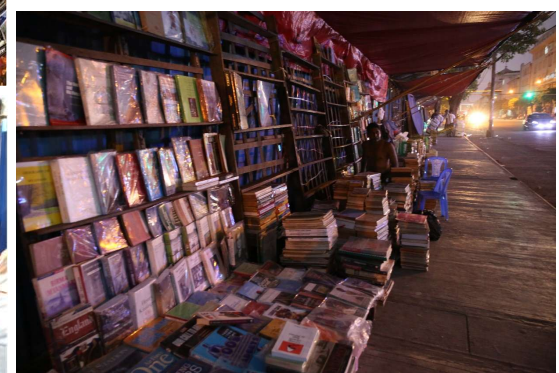
11

11

現地収集の例

ミャンマー・ヤンゴンには「路上の大学」が広がる

(2015年3月、2019年10月の現地調査より)



© IDE-JETRO ALL RIGHTS RESERVED

(写真出典：上2点 小林磨理恵撮影、下2点 兵頭千夏氏撮影)

12

資料・情報の整理・発信

CiNii Research



◆ 図書・雑誌の目録作成（含アジア・アフリカ諸語）

- 図書館システムを通じた資料情報の発信

例：CiNii（図書・雑誌や博士論文などの学術情報を検索できるデータベース）

◆ デジタルアーカイブス管理・運営

例：「近現代アジアのなかの日本」（南満洲鉄道株式会社関連資料の画像等、ウェブ上で公開）

◆ 機関リポジトリの管理・運営

例：ARRIDE（アジ研の研究成果を保存し、世界に発信）

© IDE-JETRO ALL RIGHTS RESERVED

13

13

目録ネットワークの例

多言語目録勉強会 (2026年2月17日)

© IDE-JETRO ALL RIGHTS RESERVED

これからの学術情報システム構築検討委員会

▶ ホーム
▶ ニュース
▶ 委員会・作業部会
▶ 規程
▶ ドキュメント
▶ 図書館システム・ネット

お知らせ

2026-04-22	第1回 多言語目録勉強会
2026-03-24	NII-DEER チャンスのお願い(再掲)
2026-03-18	2024年度/2025年度 多言語目録業務に関するアンケート結果の公表
	JUSTICEとAlma

2026-04-22

2026年2月17日に開催したイベント「第1回 多言語目録勉強会」また、本イベントの企画として実施した「多言語目録業務に関するアンケート結果の公表」のポスターを公開しました。

勉強会資料

第1回 多言語目録勉強会 一この素晴らしい目録に賞賛を：NACSIS-CATの多言語目録

- ・ 多言語目録業務に関するアンケート調査結果:佐藤 陽子 氏(鳥根大学附属図書館)
- ・ - 話題提供①:早矢仕 悠太 氏(ジェトロ・アジア経済研究所図書館情報課)
- ・ - 話題提供②:日高 環 氏(九州大学中央図書館)

2025年度整理点数（抜粋）

英語	1,268
中国語	649
日本語	464
スペイン語	439
アラビア語	318
朝鮮語	292
トルコ語	260
ポルトガル語	159
ロシア語	128
ビルマ語	126
フランス語	114
タイ語	111

14

14

資料・情報の提供・保存



- ◆ 閲覧・利用サービス
 - レファレンス
- ◆ 企画資料展・ブックトーク等
- ◆ 資料のカビ処理・脱酸性処理・電子化等

© IDE-JETRO ALL RIGHTS RESERVED

15

15

企画資料展の例

「中東の紛争を知るために」

(2025年5月1日～8月28日)



© IDE-JETRO ALL RIGHTS RESERVED

16

16

3. スキルアップと活躍の場

◆ 海外派遣

- 2023年7月～2025年6月：コロンビアラ・サジェ大学「ラテンアメリカ諸国の行政記録管理法制度にスペインが与えた影響の要因と効果の分析」
- 2021年8月～2023年8月：オランダユトレヒト大学「欧州におけるクルド人の出版活動と抵抗運動の軌跡」



法整備は「不足」か「不要」か——南米コ
事情 / 則竹 理人

南米コロンビアの最古にして最大の博物館であるコ
(Museo Nacional de Colombia) は、今年2023
えた。コロンビアの独立をいつとするかは諸説ある
て現在も祝日になっている1810年7月20日だとし



オランダにおけるスワルト・ビート論争——祝祭は伝統か美
別か / 能勢 美紀

12月6日の「聖ニコラウスの日」とそれに関連する祝祭は、
最も重要な伝統行事の一つである。この日、子どもたちはシ
(Sinterklaas) からプレゼントをもらうが、シントクラ
先立つ11月中旬、従者のスワルト・ビート (Zwarte Piete
は'Blac...



◆ 現地調査

- 2025年度：台湾（5日間）

© IDE-JETRO ALL RIGHTS RESERVED

17

17

現地調査の例

台湾・台北にて
資料収集および
機関訪問

(2026年2月7日～11日)

© IDE-JETRO ALL RIGHTS RESERVED



(写真出典：澤田裕子撮影)

18

アジア情報研修

◆ 国立国会図書館関西館との共催イベント

- アジア情報の収集・提供に関するスキル向上を図るとともに、アジア情報関係機関間の連携を深めることを目的として開催
- ライブラリアンの専門性発揮

令和7年度 アジア情報研修

西アジアを調べる—国際機関の文書と現地の統計から紛争をみる—

2025年12月12日(金) 9:30-16:30

会場：日本貿易振興機構アジア経済研究所 C21会議室（千葉市美浜区若葉3-2-2）

国立国会図書館と日本貿易振興機構(ジェトロ)アジア経済研究所の共催で、アジア情報の収集・提供に関するスキル向上やアジア情報を扱う機関間の連携強化を目的に実施する「アジア情報研修」の参加者を募集いたします。

科目① 国際機関の文書を使ってバシライブラリアン・コラム

講師：阿部健太郎、木屋美香（国立）

科目② 西アジアの紛争と統計

講師：早矢仕悠太（アジア経済研究所）



アジア情報研修追記—中東の統計をめぐる二、三のこと / 早矢仕悠太

© IDE-JETRO ALL RIGHTS RESERVED

2026/04/28

19

19

図書館の活動

◆ アジ研図書館に蓄積した情報資源の利用促進、図書館の認知度向上のための活動

- 執筆：『専門図書館』『タイ国情報』ほか
- 講演：国内外学会、日本図書館協会研修ほか
- 研究：科研費・共同研究プロジェクト

図書館の活動 - アジア経済研究所



図書館の活動

2026年

> [報道・掲載]TBS「報道の日2025—今年の重大ニュースを解き明かす！激動の昭和100年が作った日本」2025年12月28日(日)放送)において、当館の所蔵資料「厚生省援護局 [編]、ルンペン島から復興した元陸軍少尉小野田寛郎に関する記録」が利用されました(Youtubeでは5:40〜)。2026年4月5日

> [報道・掲載]帝國書院「回読 日本史通覧 (2026年版)」において、当館の所蔵資料「東洋拓殖株式会社三十年誌」が利用されました(p.246 「朝鮮の港から積み出される米」の專頁)。2026年4月5日

> [掲載] 村田達平職員の「私の仕事、わたしの一日」第65回 アジア経済研究所図書館での5年を振り返る」が「専門図書館 325号」に掲載されました。2026年4月5日

> [講演・報告] 則竹理人職員が「ポッドキャスト Contenido archivístico」の「¿Sabes cómo se desarrolla la Archivística en Japón? Rihito Noritake nos cuenta.」に出演しました。2026年3月20日

> [掲載] 小林嘉理恵職員の「タイの本をめぐる旅」第6回「印刷文化の夜明けをたどる」が「タイ国情報 第60巻第1号」に掲載されました。2026年3月5日

> [講演・報告] 早矢仕悠太職員が「NIIこれからの学術情報システム構築検討委員会 第1回多言語目録勉強会—この素晴らしい目録に賛辞を：NACSIS-CATの多言語目録—」にて「中東諸国目録の知識と知恵」を発表しました。2026年3月5日

> [講演・報告] 船越美紀職員が中央大学政策文化総合研究所の共同研究プロジェクト「ユーラシア諸国における政治変動と文化動向に関する比較研究」の研究会「現代ユーラシアにおける政治変動と先住民、少数民族の文化」にて「トルコを中心とする各国のクルド政策とクルド表現：文化継承におけるスウェーデンの役割」を発表しました。2026年3月5日

> [紹介]当館を紹介する記事「区立図書館と連携している専門図書館のご紹介③アジア経済研究所図書館」が千代田区読書振興センターが運営するブログ「ちよびたブログ」に掲載されました。2026年2月20日

> [紹介]当館を紹介する記事「専門図書館を見る 第271回 日本貿易振興機構アジア経済研究所図書館」が雑誌「専門図書館 324号」に掲載されました。2026年2月20日

© IDE-JETRO ALL RIGHTS RESERVED

20

20

ライブラリアン・コラム



Librarian Column

ライブラリアンがおすすめする資料、資料から見える途上国の今、図書館での日々の発見などを「ライブラリアン・コラム」でお伝えします。

是非
アクセス
してください！



ライブラリアン・コラム

<p>誰の人生も誰が書いているのか? —フィリピンをめぐる「国際線」について / 柏原 千英 2026/06/01</p>	<p>アジア情報研究誌——中東の統計をめぐる二、三のこと / 華英社 悠太 2026/04/28</p>	<p>中東の紛争「パレスチナを導いてアジアを知る」を支援して / 河合 早由里 2026/03/11</p>
<p>情報リポーター図書館はAIと仲良く出来るのか / 中興 実業 2026/03/04</p>	<p>情報が流れる前に保存する——海外関係資料の電子化の事例 / 紀美 真紀 2026/01/07</p>	<p>アジア図書館の地方各コレクションを再検討する / 村岡 達平 2025/12/24</p>
<p>東南アジアの図書館を訪ねて——コロナとデジタル化の時代 / 行田 啓介 / 新竹 理人 2025/11/13</p>	<p>中国の第5期全国読書推進計画——電子化の時代 / 新竹 理人 2025/10/21</p>	<p>資料展『中東の紛争を知るために——パレスチナ、イスラエル、レバノン、シリアの政治と社会——』を始めて / 高橋 理枝 2025/10/10</p>

資料展『中東の紛争を知るために——パレスチナ、イスラエル、レバノン、シリアの政治と社会——』を始めて / 高橋 理枝

4. 募集について

募集中!

新興国・開発途上国地域関連の資料・情報を扱う図書館業務に関心がある方

- 図書館情報学又は情報学の修士号（含2027年3月に修了見込み）以上の学歴を有す方。
- 人文社会科学系修士号（含2027年3月に修了見込み）又はそれ以上の学歴を有し、地域研究に関心を持つ方。